



あいのわ福祉会

Ayase River Times

みんなで「ほっと、いっしょに、いきいきと」
～安心・信頼を大切に 共に考え・学び お互いの自己実現を目指します～

<施設長より>

人はどう生きたら幸福なのか、度々考える年齢になった。友人に誘われてデンマークに行って来た。福祉国家として有名な国である。医療や教育は無料、高齢者も障害者も安心して暮らすことができるようになっている。そのため消費税は25%、収入の50%は税金として支払う。車を買うときは、税が200%かかるので車の値段の3倍のお金が必要ということだった。失業しても今までの収入の90%が保証され、希望すれば年齢に関係なく手に職をつけるために学校に通うこともできるシステムもある。充分な年金により高齢者も障害者も失業者もみんな高額納税者になる。高額納税者である全国民は、多額の税金の使い道を見届けるため、そのお金を使い繰り返す政治家を選ぶ選挙は常に80~90%の投票率を維持しているということだった。

駅のホームで電車を待っていると大きなベビーカーを見ず知らずの周囲の人たちが自然に手伝って乗り降りしている光景を何度も見た。また、電車は乗る時も降りる時も改札がなく自己申告のようなシステムであるし、自宅の電気や水道のメーターの数値も自己申告で、日本人から見るといくらでもごまかせそうな状況であった。「これでごまかす人がいないのか」という質問に通訳の方が「これが自立というものよ」と得意気に答えた。こういう自立という言葉の使い方もあったのかと思った。とにかくすべての人が生涯にわたり程々の幸福な暮らしを営むことができるよう子供時代から共に生きるための教育的配慮がなされているのだと感じ、改めて教育というものの重要性を認識した。

福祉施設に数軒お邪魔させていただいたが、支援の仕方や考え方、補助器具等は日本とそう変わらないように感じた。日本と違うのは、社会のシステムと福祉を職業としていない人達つまり一般国民の思いや考え方であった。長い歴史的な背景があるのだろうが、国民みんなが多額の税を負い共に生きるというスタイルを実現しているというのは偉い国だった。しかし、これこそ民主主義だという説明は現役日本人の自分にはどうもピンとこなかった。けれど、この旅で出会ったデンマークの人達は良心的で優しい人が多いように私も友人も感じた。それはこの国の福祉政策の結果なのかどうか知りたいと思った。

私事、この4月に竹の塚あかしあの杜に異動することとなりました。

平成18年4月、利用料負担が発生するようになった障害者自立支援法施行とともにやってきた間の悪い施設長ではありました。多くの利用者様、ご家族、地域の皆様、何より真摯な若い職員達の姿に助けられ、育てられ、6年間勤務することができました。

この間、皆様から賜りました身に余るご厚情に心から御礼申し上げます。

(太田 記)

<全体行事より>

2月24日に全体行事ファイナル!?と銘打って『ハッとして、グッときて、Ho to ビンゴ♪』が行われました。今回のビンゴは綾瀬あかしあ園の男性支援員・利用者の写真を使ったビンゴで、当日は誰が出るかドキドキ。「リーチ！」や「ビンゴ！」の声も飛び交い、名前が呼ばれる度に大歓声で盛り上がりしました。進行はショッカーとピンク・イエローレンジャーが行い記念撮影も(?)



<職員の異動・入職・退職>

●退職職員

中嶋支援員

私の半分はファミリーとの日々、もう半分はあかしあの皆さんとの日々で出来ていました。一人の生活人として本当にお世話になり、心からありがとうございました！！

●異動職員

中村支援員

約5年間本当にお世話になりました。新しい場所でも、自分らしく頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

千葉支援員

約4年間本当にお世話になりました。皆さんと過ごした楽しい日々を胸に、次の職場でも頑張っていきます。ありがとうございました！

鈴流支援員

園祭には必ず遊びに行きます！皆さんも桜祭りにぜひ来てくださいね！！

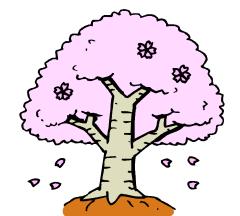
●新規職員

阿部支援員

今年の1月からゆいま～るグループで働かせていただいています。4月からは、4グループとなりました。今後もよろしくお願ひします。

田村支援員

まだ分からぬことが多いですが、これからいろいろなことを覚えていきたいと思っています。頑張るので、よろしくお願ひします。



< 2F にこにこグループより >

にこにこグループでは23年度の思い出を皆さんお一人おひとりの心に刻んでいただけるよう、グリーンプロジェクトでは春を見つけに出かけたり、次に繋がる商品作り、チャレンジクッキングでシチュー作りに挑戦するなど、力を合わせ頑張っています。

にこにこグループでの経験を新グループでも発揮してください。

(堀口 記)



< 3F ゆいま～るグループより >

次年度からグループ編成が変わり、今のメンバーと過ごす日は、あと数日となりました。最終日には、納め会として今までお世話になった方々をお呼びし、ケーキ作りを行う予定です。その後は、今までの思い出を撮影した写真をスライドショーとしてみんなで鑑賞します。今までゆいま～るグループに関わって下さった皆様に本当に感謝しています。

(清水 記)



< 4F グループより >

3月21日4Fグループでは、今年度最後の「アクティブ」活動が行われました。この活動は月2回、隔週水曜日の午後に行われるもので、皆でリハビリ体操やトランポリンで身体を動かすことを目的とした活動です。体操はアクティビリーダー（係）のかけ声に合わせて行います。この日は皆でマットに降りて行いました。お隣さんとお互いの肩を叩きあったり、揉みあったり皆、気持ち良さそうでした。



トランポリンの時は、2人乗りして支援員が揺らします。跳ね上がる度に楽しそうに声を上げる様子がみられます。

(橋本 祥記)



< クラブより >

☆音楽・ダンスクラブ☆

音楽ダンスクラブは、まず、バレンタインデーのお返しとして、男性陣みんなで嵐の『One Love』を熱唱。その後は、最後の音楽ダンスクラブということで『さよなら&春の歌特集』。テーマに沿った歌をただ歌うだけではなく、パラシュートや桜の花びらで、春を感じられるようにしました。桜の花びらがパラシュートの風でとてもきれいに舞いました。最後にはみんなで記念撮影。音楽ダンスクラブ（D.M.C.A）は永遠に不滅です！！

(草野 記)

☆スポーツクラブ☆

今年度最後の企画は、大人気の風船バレーを行いました。今回、1位・2位のチームに賞品を出すことに！皆さん賞品狙って、いつも以上に気合いが入っていて、アタックで返す人が多いように感じました。賞品は、スポーツに因んだダンベルやリストバンドなどなど。1位と2位になったチームは賞品に満足したようで、嬉しそうに周りの人たちに見せて自慢していました。また、今回一年を振り返ろうということで、今年度のスポーツクラブで撮った写真を掲示しました。今年を振り返り、最後は気持ち良く汗をかいて終わることが出来ました。

(星野 記)

☆オトナクラブ☆

最後のオトナクラブは、会議室の大きなテレビで「アレグリア」のDVDを観ました。映画館の雰囲気に近づけるように、映画の前にガスコンロでポップコーンを作りました。部屋中がポップコーンの匂いに包まれ、一瞬映画館にいるような錯覚になったとかならなかったとか。食事時にはインターネットでお取り寄せしたスイーツを食べました。岩手から、当日に届けてもらうように手配し、みなさん美味しそうに食べていました。

(橋本 匠記)



ボランティアさん募集

綾瀬あかしあ園では、日常的な活動をお手伝いいただける方、外出、行事に参加いただけるボランティアさんを常時募集しております。詳細につきましては地域ボランティア担当神野（じんの）・西川・尾臺（おだい）までお気軽にお電話でお問い合わせください。

電話 03-5682-7272 (地域ボランティア担当)

4月の予定

3日 バス通所開始 18日 全体保護者会
11日 入所式 24日 陽だまり

<編集後記 >

来年度、「Ayase River Times」が新しくなります。今以上に綾瀬あかしあ園の旬な情報をお伝えしていきますので、今後ともよろしくお願いします。

(星野 記)